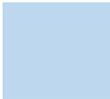


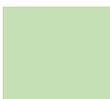
2022/3期 2Q 決算説明資料



 **1. 会社概要／当社の歩み**

 2. 2022／3期 2Q業績概要

 3. トピックス

 4. 東証プライム市場への対応

 5. 参考資料（2022年3月期）

会社概要（21/3月末現在）



事業内容	建設機械及び林業機械の製造、販売、修理
グループ会社	(株)アイオンテック(主力組立工場) 南星機械(株) (林業機械等製造・開発・販売) オカダアメリカ、オカダヨーロッパ
創業	1938年7月(設立1960年)
資本金	2,221百万円
拠点 (グループ計)	国内22、海外5 ※南星盛岡営業所は4/1よりオカダに統合
売上高	17,591百万円
従業員	451名(連結)



当社の歩み

さいせき
**砕石から都市解体需要まで、解体用アタッチメントの
 開発・製造・販売を中心に成長してきました**

直近約30年
 売上高推移

(単位：百万円)

1938 創業

1951頃
 (鑿岩機工法)



1960頃
 (大型エアブレーカ登場)



1970代後半
 (圧砕工法登場)



1995
 (阪神淡路大震災)



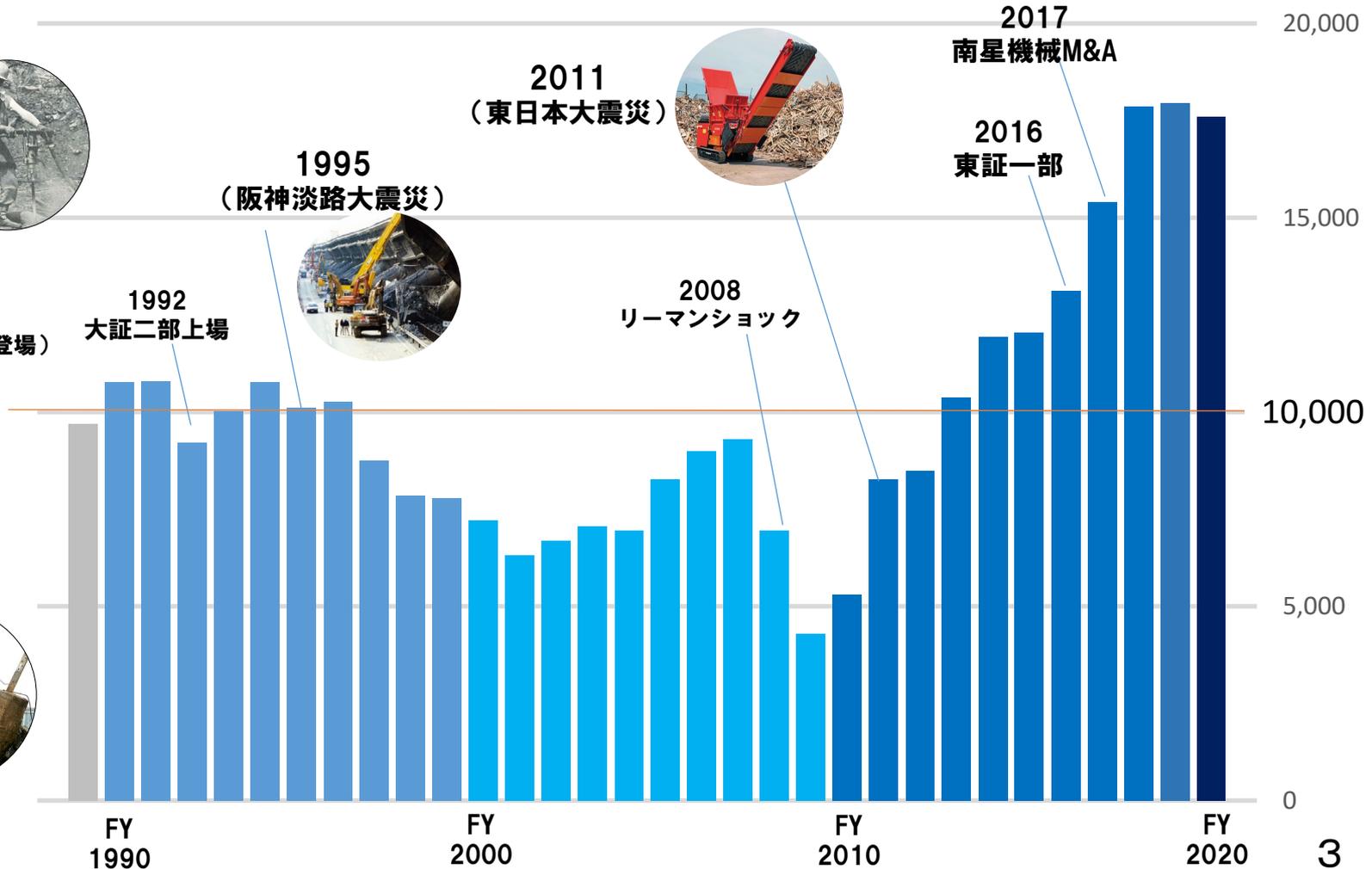
2011
 (東日本大震災)



2008
 リーマンショック

2017
 南星機械M&A

2016
 東証一部



- 1. 会社概要／当社の歩み
- 2. 2022／3期 2Q業績概要**
- 3. トピックス
- 4. 東証プライム市場への対応
- 5. 参考資料（2022年3月期）

2022年3月期第2四半期業績



～第2四半期連結累計期間の過去最高売上・最高利益を更新～

(単位：百万円)

	21/3期 2Q実績	22/3期 2Q予想 <small>(2021.5.13発表)</small>
売上高	8,456	8,900
営業利益	735	770
経常利益	758	770
四半期純利益 <small>(当社株主帰属)</small>	460	480

22/3期2Q (上半期) 実績	通期 進捗率	予想比 増減 (額)	予想比 増減 (%)	前年 同期比 増減 (額)	前年 同期比 増減 (%)
10,056	54.3	1,156	13.0	1,600	18.9
1,022	64.0	252	32.8	286	39.0
1,026	64.1	256	33.3	267	35.3
659	62.3	179	37.5	199	43.5

通期業績予想

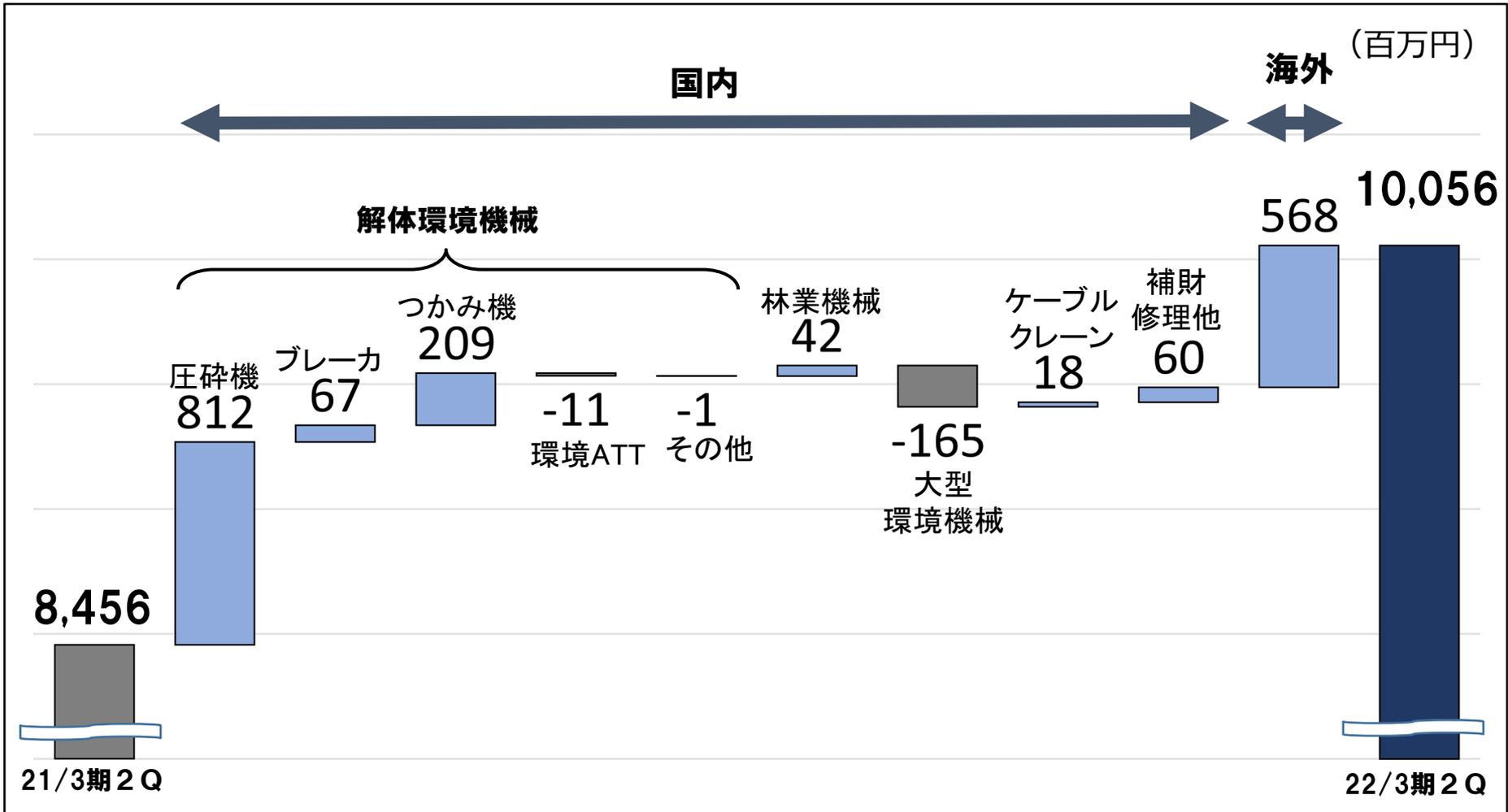
◆上期の上振れ分を通期予想に加えて上方修正

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 予想 (2021.5.13発表)	22/3期 修正予想 (2021.11.12発表)	前回発表	前回発表	前期比	前期比
				増減(額)	増減(%)	増減(額)	増減(%)
売上高	17,591	18,500	19,656	1,156	6.3	2,065	11.7
営業利益	1,377	1,600	1,852	252	15.8	475	34.6
営業利益率	7.8	8.6	9.4	0.8	—	1.6	—
経常利益	1,433	1,600	1,856	256	16.0	422	29.5
四半期純利益 (当社株主帰属)	919	1,060	1,200	140	13.3	281	30.6

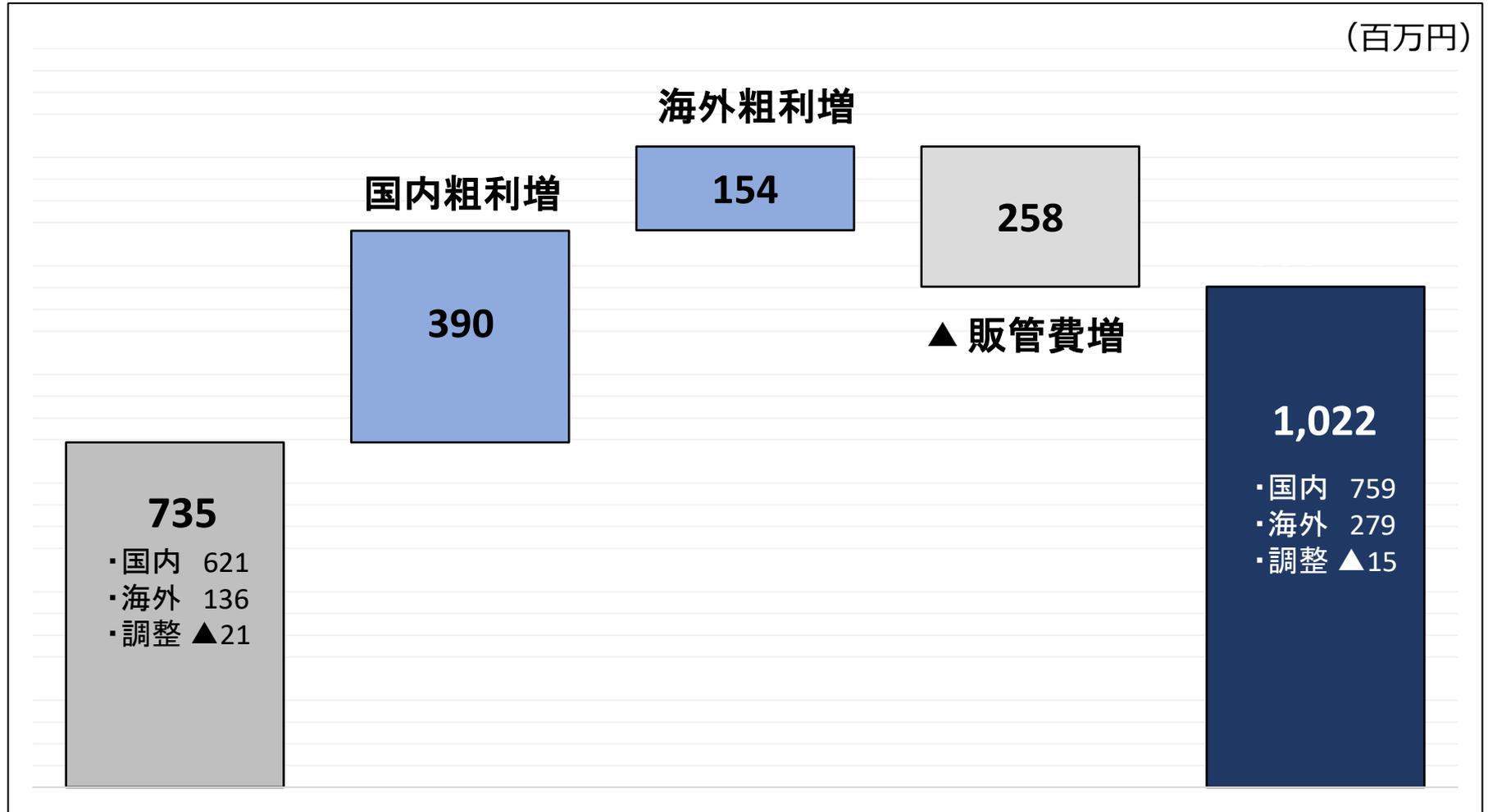
売上高増減要因

- 国内では、展示会販促効果の継続や再開発・建替え需要回復等により、前年同期比14.6%増
- 海外では、北米経済の順調な回復や欧州販売網の充実等により、前年同期比41.6%増



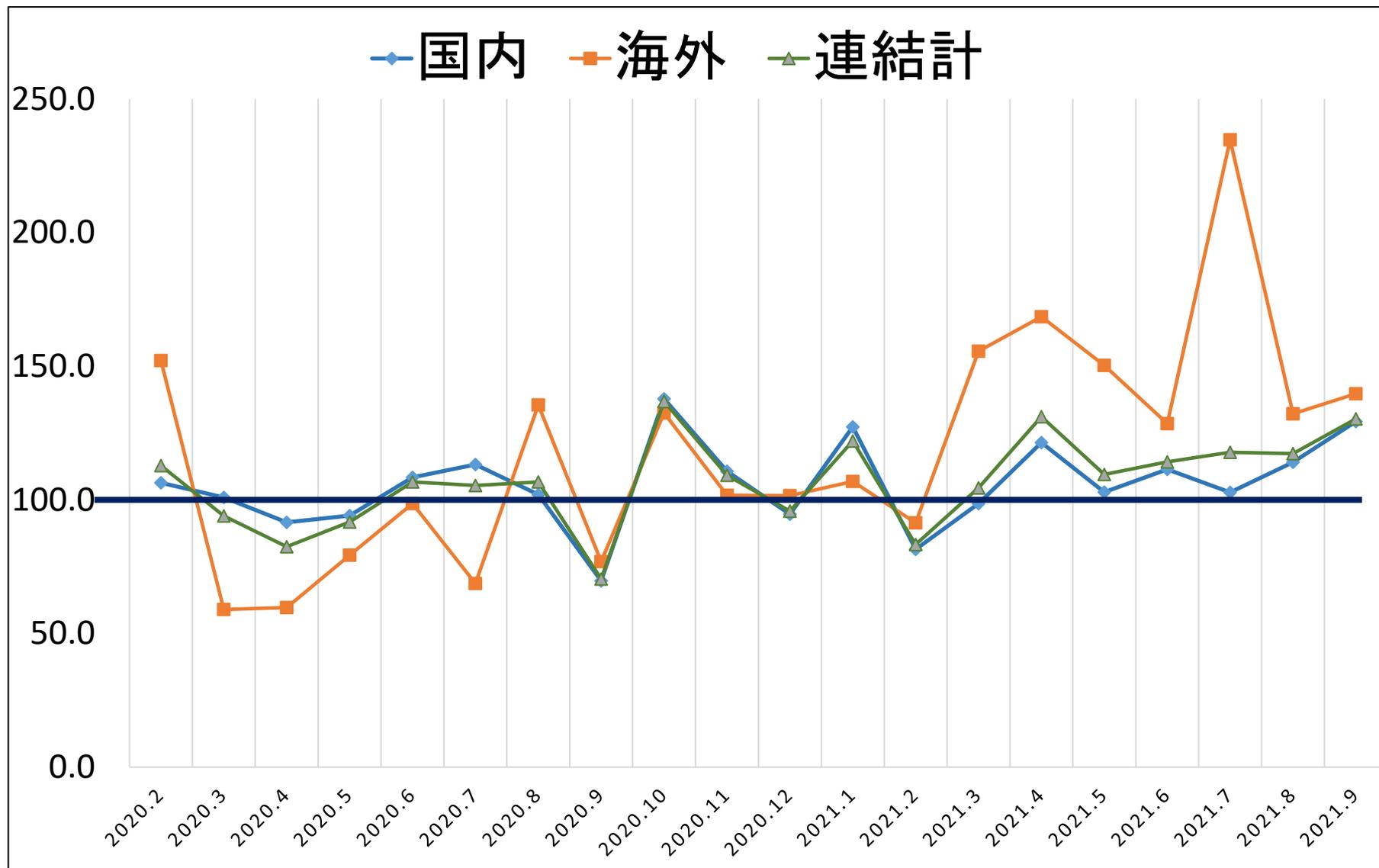
営業利益増減要因

- 国内は、展示会費用等の販促費増加はあったものの売上が堅調に伸び、前年同期比+22.1%増
- 海外は、主要3地域が順調に推移する等により、前年同期比+105.0%増



コロナウイルス禍のセグメント別売上状況

【前年同月比(%)】

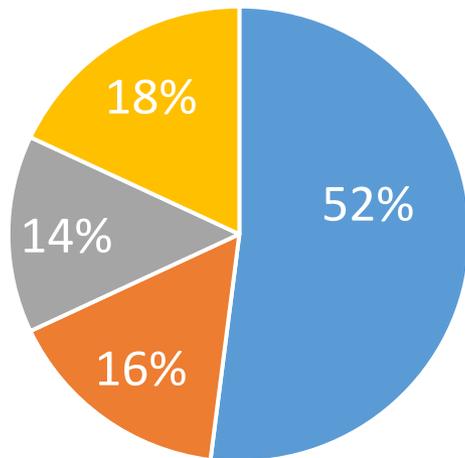


セグメント・事業別売上（2Q推移）概要

※機種別詳細については参考資料（P.27）をご参照ください

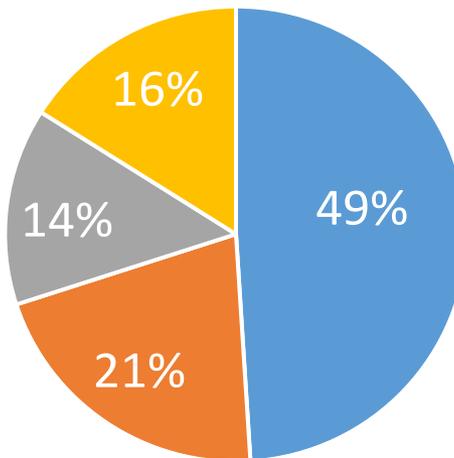
売上高(累計)
9,296百万円

20/3期2Q



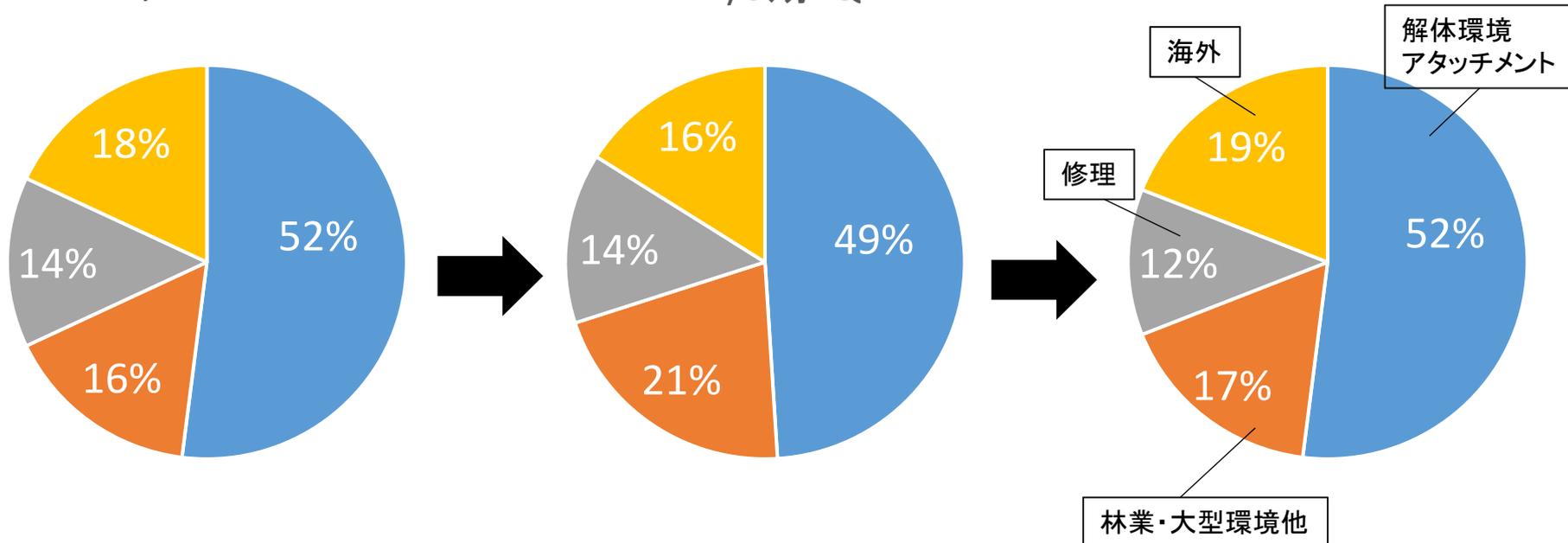
売上高(累計)
8,456百万円

21/3期2Q



売上高(累計)
10,056百万円

22/3期2Q



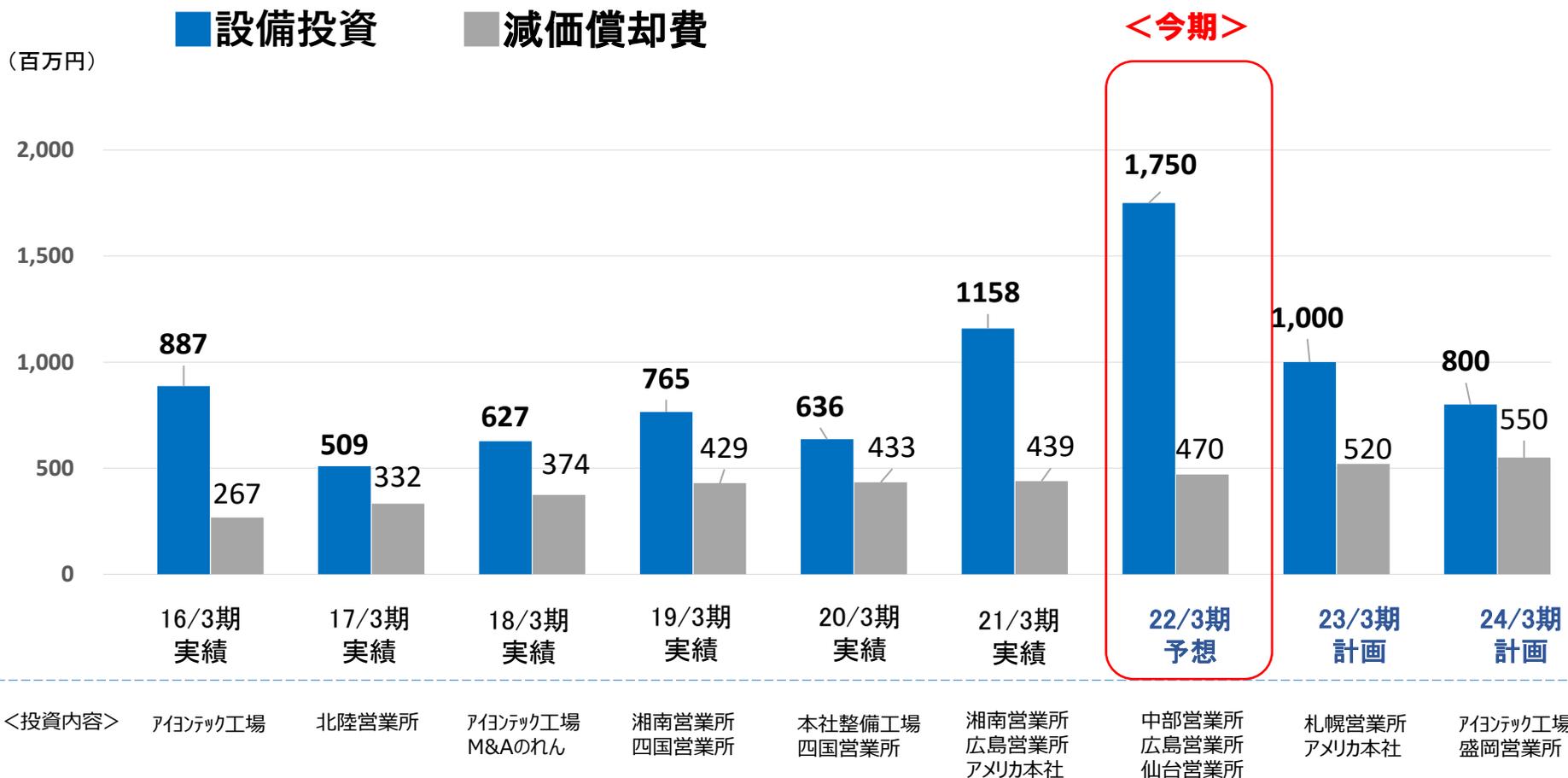
機種別売上（2Q推移）

● 第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を変更し、変更後のセグメント区分に組み替えて行っております（百万円）

		20/3期2Q	21/3期2Q	22/3期2Q	前期比		前々期比	
					金額	増減(%)	増減(%)	
国内	解体環境 アタッチメント	圧砕機	3,123	2,539	3,352	812	32.0	7.3
		ブレーカ	459	381	448	67	17.6	▲2.4
		つかみ機	461	489	698	209	42.8	51.3
		環境アタッチメント	291	325	313	▲11	▲3.6	7.6
		その他	469	405	403	▲1	▲0.4	▲14.1
		計	4,805	4,140	5,216	1,076	26.0	8.6
	大型環境他 林業・	林業機械	311	305	347	42	13.9	11.8
		大型環境機械	445	612	446	▲165	▲27.1	0.2
		ケーブルクレーン	427	591	609	18	3.2	42.8
		その他	327	252	283	31	12.5	▲13.3
		計	1,511	1,761	1,688	▲73	▲4.2	11.7
	修理	補材	902	786	821	35	4.5	▲8.9
		修理	400	401	395	▲6	▲1.5	▲1.4
		計	1,303	1,187	1,217	29	2.5	▲6.6
	国内セグメント計		7,620	7,089	8,121	1,032	14.6	6.6
海外	米国地域	1,229	896	1,158	262	29.3	▲5.8	
	欧州地域	214	233	373	140	60.4	74.6	
	アジア地域（中国を含まず）	204	215	260	44	20.8	27.3	
	その他	27	21	142	121	561.2	410.2	
海外セグメント計		1,676	1,366	1,935	568	41.6	15.4	
連結計		9,296	8,456	10,056	1,600	18.9	8.2	

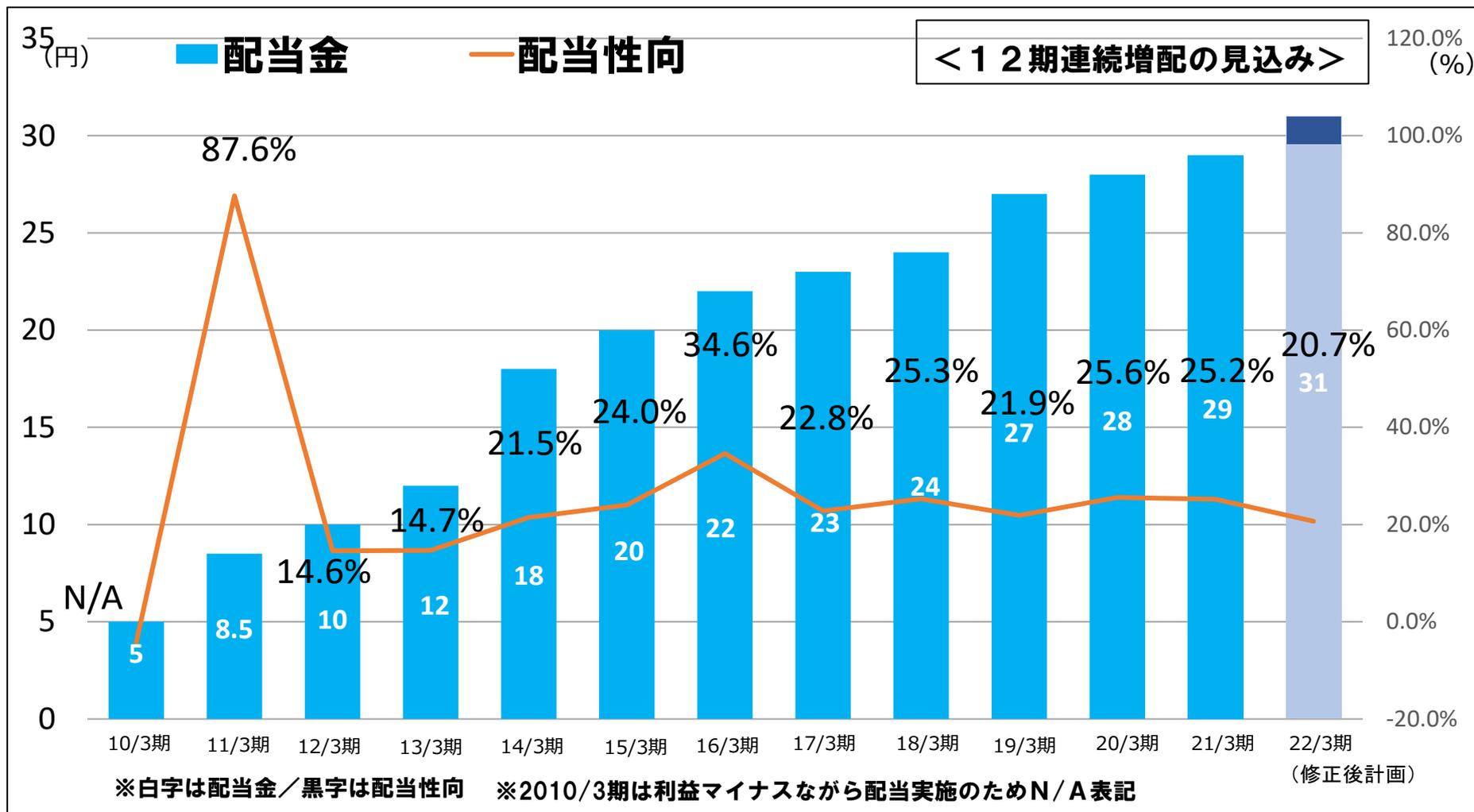
設備投資・減価償却

- ◆ 増産のための主力工場(アイオンテック)拡張と大型機メンテナンス対応強化及び職場環境改善のための営業所(兼整備工場)建替投資を計画的に実施 (今期が設備投資のピーク)
- ◆ 設備投資は工場建屋・クレーン設備等償却期間が長いものも多く、減価償却負担は漸増にとどまる



配当実績推移

- 22/3期は2021年5月13日発表予想比で1円増配の年間31円
- 中長期の安定成長に基づき、目線である配当性向30%と成長投資配分を考慮しつつ累進的配当方針



1. 会社概要／当社の歩み
2. 2022／3期 2Q業績概要
- 3. トピックス**
4. 東証プライム市場への対応
5. 参考資料（2022年3月期）

トピックス（林業展での新製品展示）

～森林・林業・環境機械展示実演会～10/10・11日 北海道にて開催

【オカダハイブリットバケット】

【ストローク°セッサ NSP-45】(参考出品)



- 林業では、第一に作業道の確保が必要
- 作業道確保には複数の重機が必要だったが、伐採、運搬、除根、地面の整形等を1台で実現

- 強力な送材力で斜面での作業も可能
(人工林の7割を占めるヒノキ・マツに適している)
- 一度で確実な枝払いを実現

トピックス（国内営業所〈兼整備工場〉の充実）OKADA

【拠点リニューアル推移】

2016年：北陸営業所移転新設

2019年：四国営業所移転新設

2020年：湘南営業所移転新設

2021年：広島営業所移転新設

2022年：中部営業所建替え（※）

：仙台営業所移転新設（※）

（※） 予定

【広島営業所（2021/10/15開所）】



【北陸営業所（2016）】



【四国営業所（2019）】



【湘南営業所（2020）】



【中部営業所（2022予定）】



【仙台営業所（2022予定）】



- 1. 会社概要／当社の歩み
- 2. 2022／3期 2Q業績概要
- 3. トピックス
- **4. 東証プライム市場への対応**
- 5. 参考資料（2022年3月期）

プライム市場適合状況(2021/7/9付 東証1次判定)

	上場維持基準	当社数値	適合状況
流通株式数	20,000 単位	60,807 単位	○
流通株式時価総額	100.0 億円	75.9 億円	×
流通株式比率	35.0 %	72.5 %	○
売買代金(1日平均)	20.0 百万円	28.1 百万円	○

※プライム市場に向けた計画書については別紙ご参照願います

1. 会社概要／当社の歩み
2. 2022／3期 2Q業績概要
3. トピックス
4. 東証プライム市場への対応
5. 参考資料（2022年3月期）

【国内】



- オカダアイオン 12拠点
- アイオンテック 1拠点
- 南星機械 9拠点

※南星盛岡営業所は4/1よりオカダに統合

【海外】



- オカダアメリカ 3拠点 (本社/オレゴン)
- オカダヨーロッパ 1拠点 (本社/オランダ)
- オカダタイ 1拠点 (本社/アユタヤ)

※タイ駐在員事務所を2021/5月より現地法人化



【中低速回転機】



- 大きな丸太から破砕可能
- 東北震災時にはガレキ処理で活躍

【高速回転機】



- 木材を木片チップに切削
- チップはバイオマス発電等で活用



【林業機械】



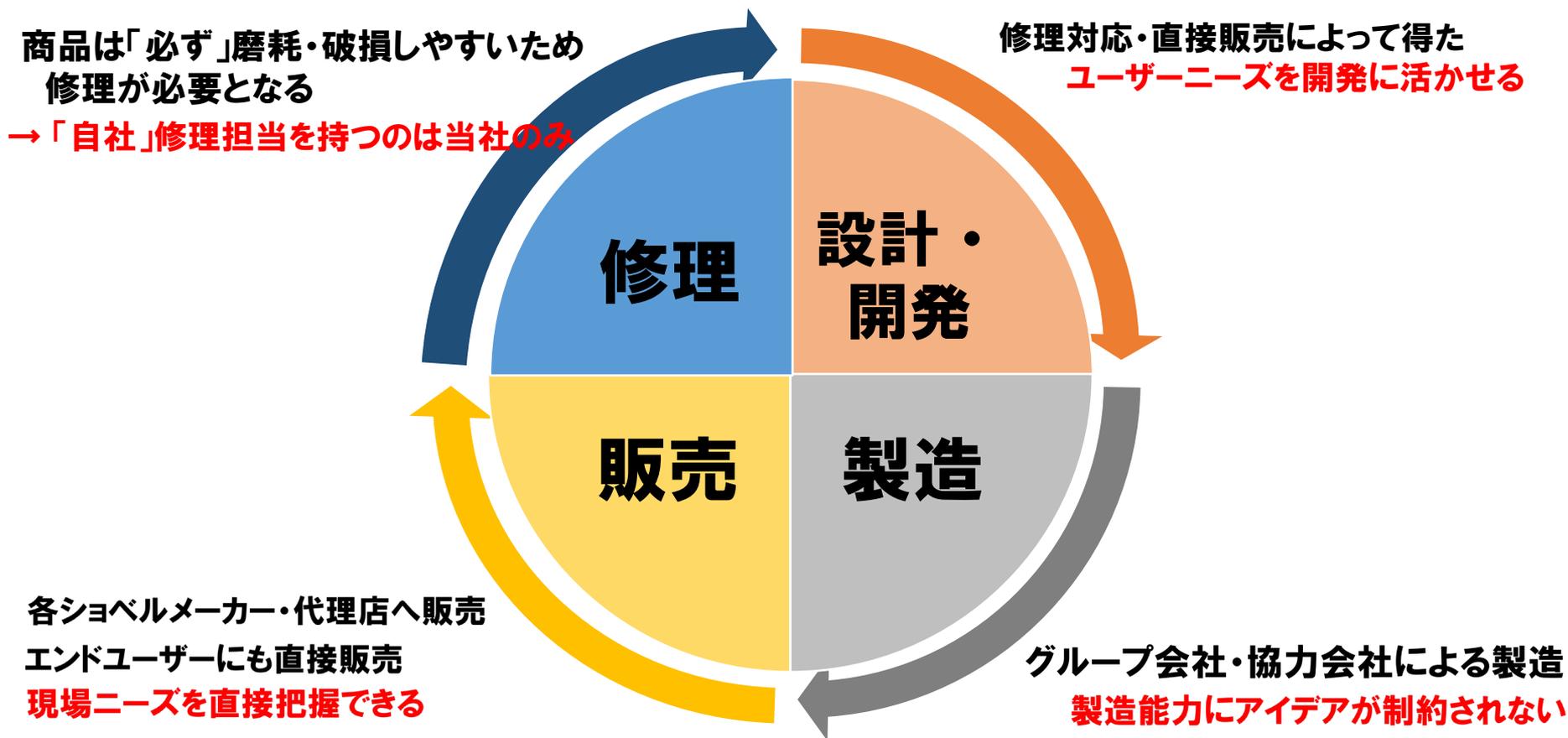
- ・森林にて木材を伐採
- ・枝払い、剪定、運搬までこなす

【発電所・ダム建設用 ケーブルクレーン

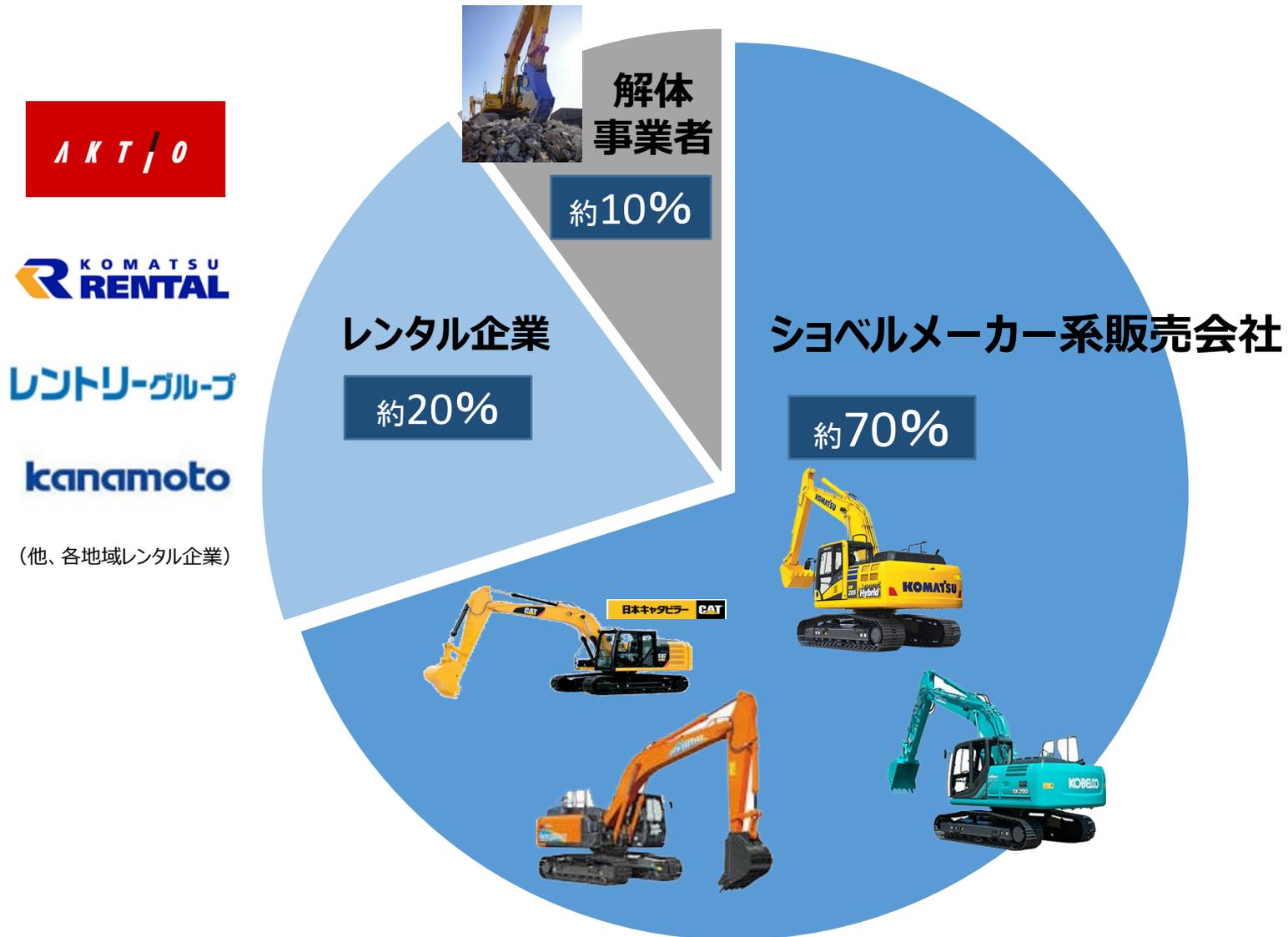


- ・道の無い山の斜面での
生コンクリート・資材等の運搬に

一気通貫の循環モデル

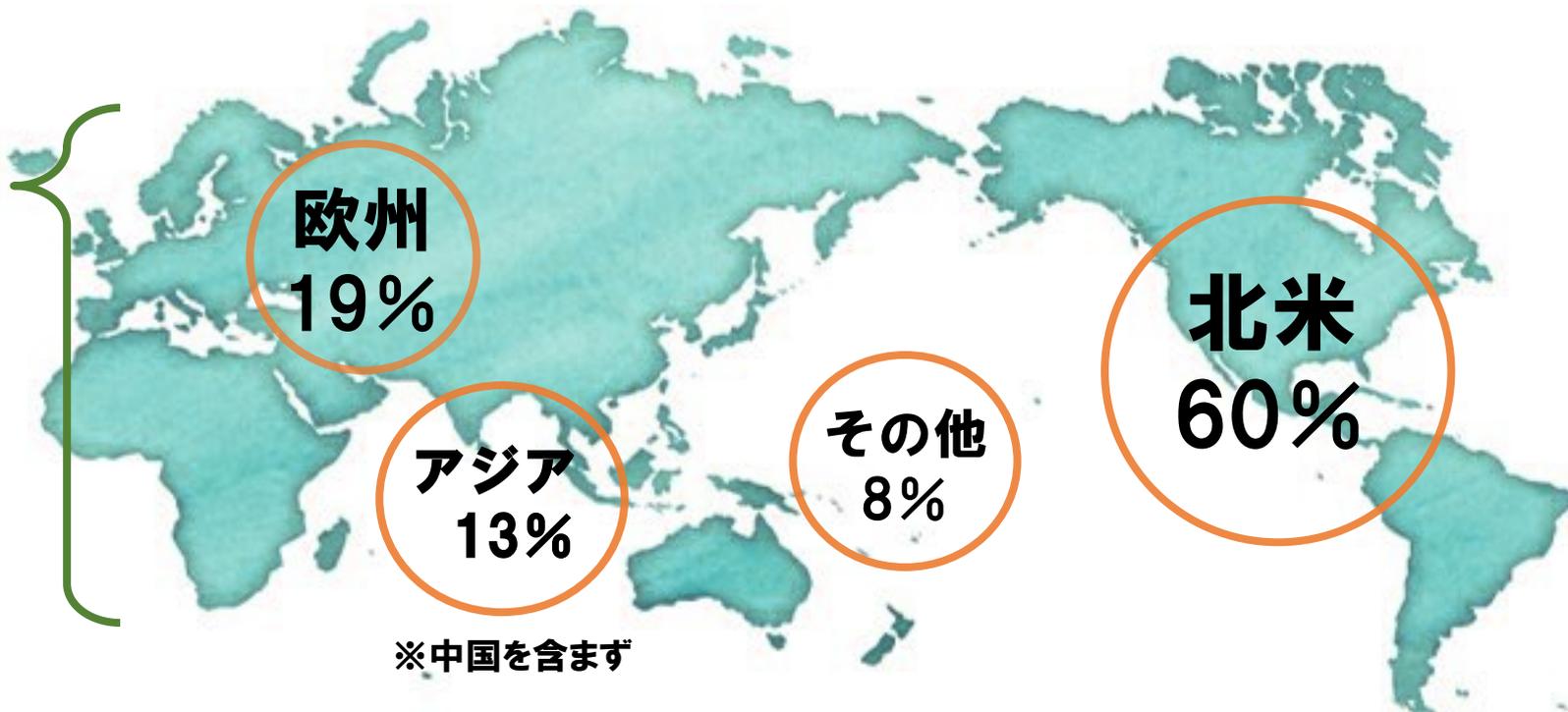


商品販売先（国内）

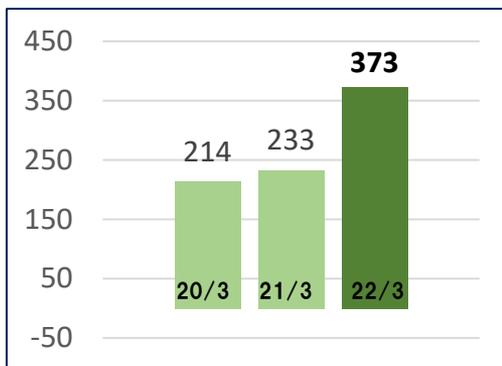


海外エリア別売上内訳 (2022/3月期2Q)

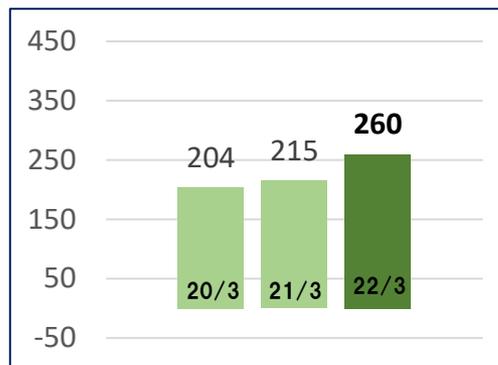
(販売構成)



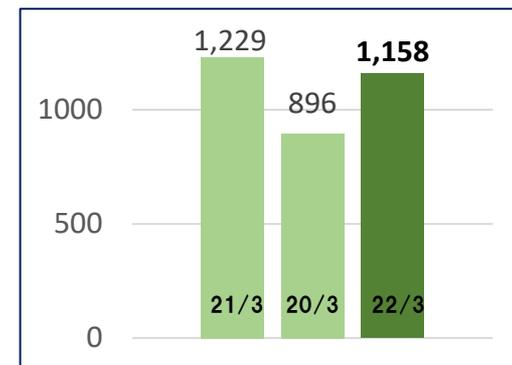
【欧州】



【アジア】



【北米】

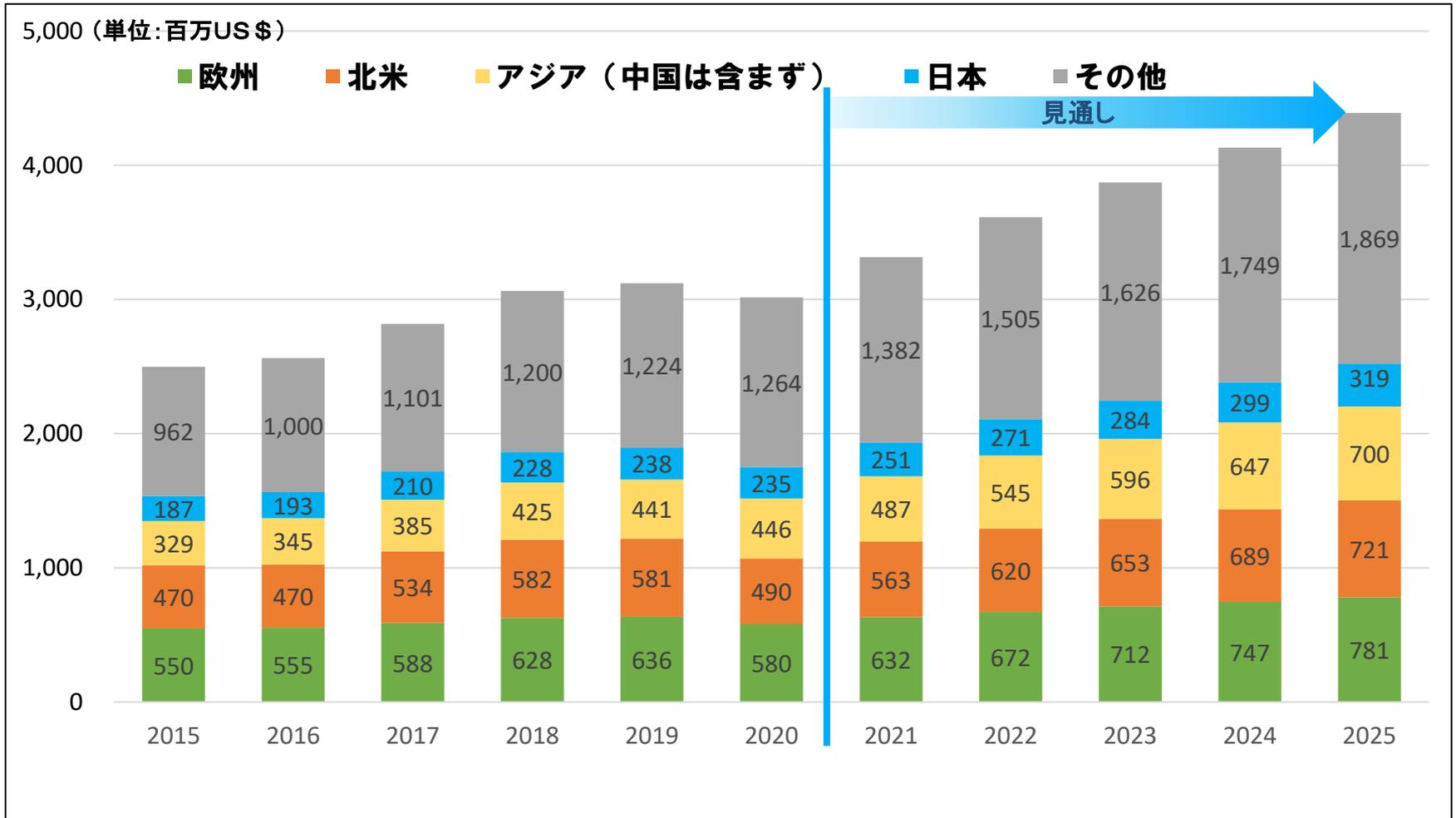


(各地域2Q推移/単位:百万円)

グローバル市場の成長見通し

解体アタッチメント市場

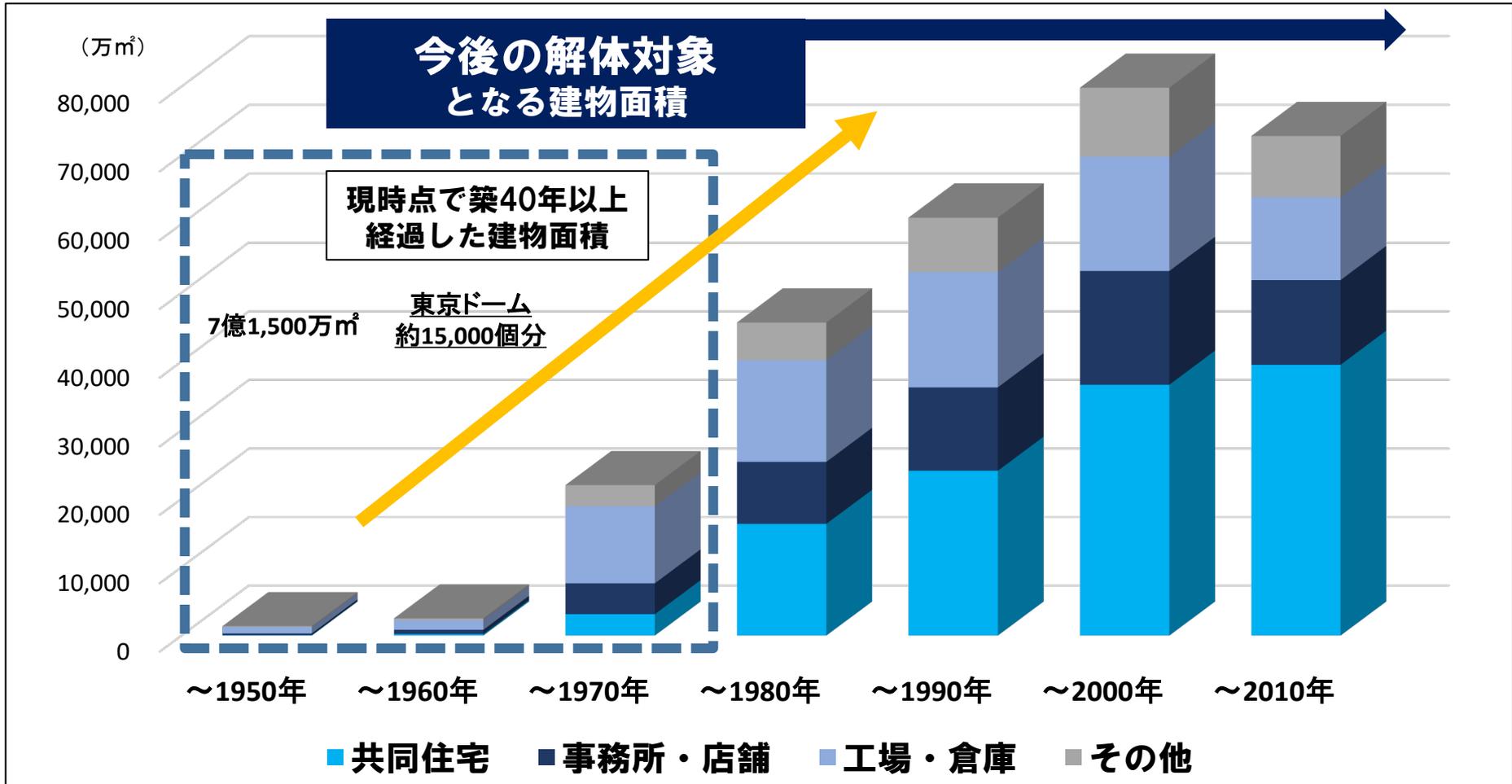
- ◆注力市場の「米国」「欧州」「アジア」における2021/2025のCAGR(年平均成長率)は6.97%
- ◆「日本」の2021/2025のCAGR(年平均成長率)も6.18%



「民間リサーチ会社の調査資料をもとに当社作成」

非木造建物(コンクリート建物)の建築年代と建築面積

◆ 築40年以上の解体建物対象を見ると、解体需要はこれからが本格化(毎年東京ドーム約1,500個分相当の面積が対象に)

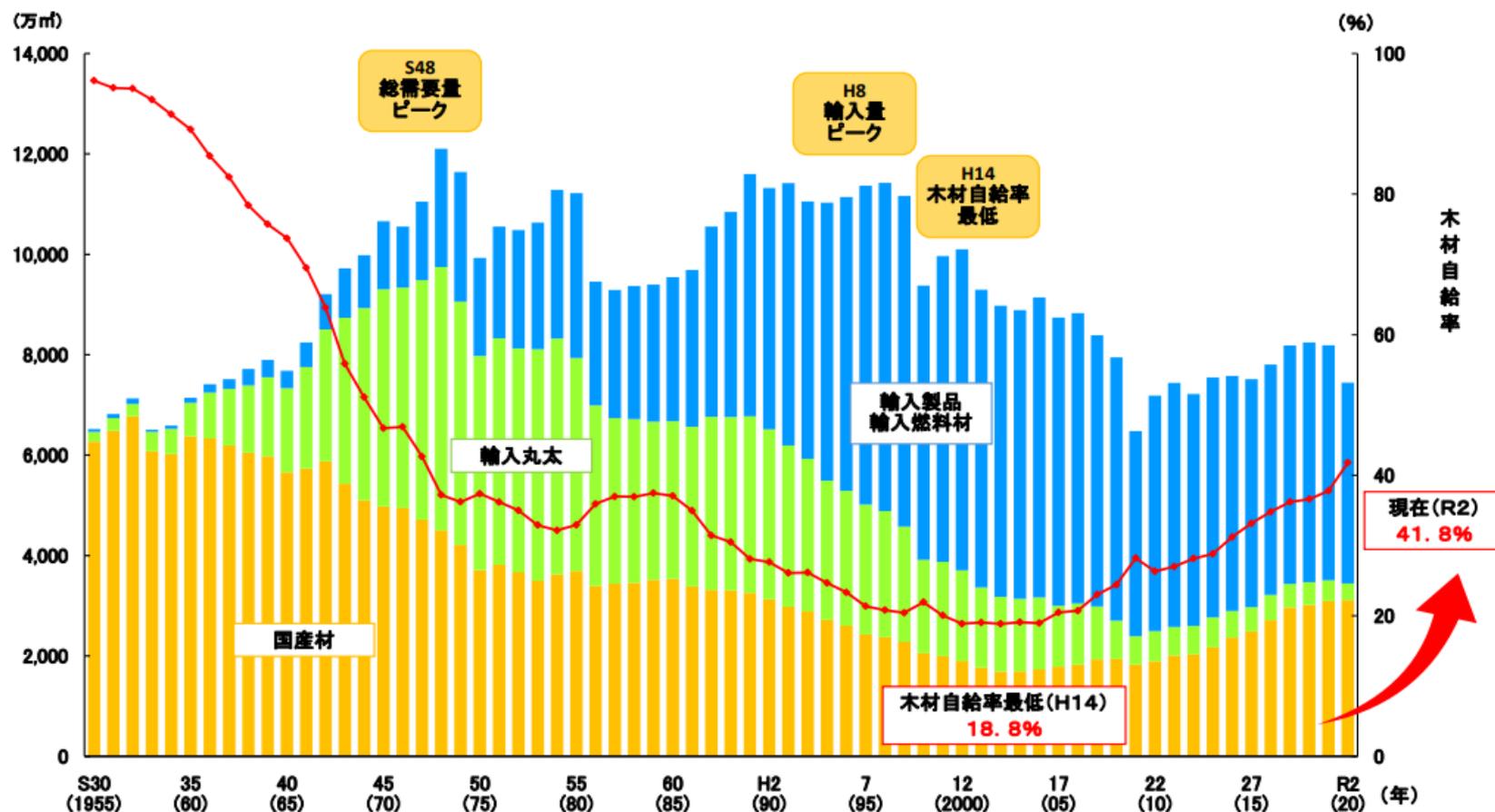


◆東京ドームの床面積を46,000㎡として換算

国土交通省「建築物ストック資料」より当社作成

木材供給量及び木材自給率の推移

- ◆ 高度成長期に、国産木材の不足を補うかたちで増加した輸入木材が、長期間国産材を凌駕し続けてきたが、40～50年前に植林した人口造林が伐採適齢期となり、間伐問題等の環境保全の観点から国も国産木材の利用を促進
- ◆ その結果、木材自給率は10年連続上昇(18.8% → 41.8%)し、作業効率が改善する林業機械の活躍の場はますます拡大中



林野庁「『令和元年木材需給表』の公表について」(2021年9月30日発表)

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは保証するものではありません。

(お問い合わせ先)
オカダアイオン株式会社
経営企画室

TEL 06-6576-1271 FAX 06-6576-1270

URL <http://www.aiyon.co.jp/>